



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道具 登志夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事部長 (氏名) 大垣 憲之

TEL 03-5220-1160

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,481	9.6	256	△5.9	260	△5.3	157	△5.4
25年3月期第2四半期	1,351	1.8	272	△27.8	274	△27.3	166	△19.6

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 157百万円 (△5.4%) 25年3月期第2四半期 166百万円 (△19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	11.35	11.31
25年3月期第2四半期	12.05	12.04

(注)当社は平成25年3月31日現在の株主に対し平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。なお、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,627		3,694			77.8
25年3月期	4,562		3,568			75.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 3,598百万円 25年3月期 3,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	300.00	—	500.00	800.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)1.25年3月期期末配当金の内訳 普通配当300円00銭 東京証券取引所一部指定記念配当 200円00銭

2.当社は平成25年3月31日現在の株主に対し平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

平成25年3月期配当金につきましては当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

平成26年3月期配当金、平成26年3月期配当金予想は当該株式分割後の金額であります。

当該株式分割前に換算すると中間・期末の配当金は1株当たり400円00銭、年間合計では800円00銭となります。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	10.1	800	8.6	800	10.2	480	8.0	34.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,133,000 株	25年3月期	14,133,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	255,600 株	25年3月期	310,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	13,856,661 株	25年3月期2Q	13,799,600 株

(注) 当社は平成25年3月31日現在の株主に対し平成25年4月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。なお、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における当社グループを取り巻く経営環境は、円高の是正や株価の上昇など経済回復への期待感より消費者心理の改善がみられ、回復基調の中で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、既存事業の一層の推進とともに、平成25年6月にNRIセキュアテクノロジーズ株式会社よりメールセキュリティ事業の基盤拡大と新規事業向けに事業用資産等の譲り受けを合意した製品の販売開始や、企業内での利用が今後さらに進展することが予想されるモバイル端末向け製品の新しいバージョンをリリースするなど、売上の更なる向上に努めました。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、企業向け市場での販売が堅調に進んだことや家庭向け市場でのスマートフォン向けフィルタリングソフトの販売が好調に進展したことで、1,481,615千円（前年同期比109.6%）となりました。また、売上原価は428,217千円（前年同期比120.4%）、販売費及び一般管理費は796,686千円（前年同期比110.1%）となりました。売上原価の増加要因は、平成25年3月期に製品ラインの拡充に向けて開発やサポート体制を強化したことや、平成25年3月期第4四半期にリリースした製品の減価償却費が当期に増加したことなどによるものです。また、販売費及び一般管理費の増加要因は、新製品拡販に向けての人員体制強化、海外展開関連費用などによるものです。この結果、営業利益は256,711千円（前年同期比94.1%）、経常利益は260,008千円（前年同期比94.7%）、四半期純利益は157,296千円（前年同期比94.6%）となりました。売上高及び経常利益等の利益額ともに、平成25年5月9日付で公表いたしました業績見通しを上回り、順調に推移しております。

各市場の業績は次の通りです。

#### 企業向け市場

主力商品であるWebフィルタリングソフト「i-FILTER」並びに電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」は、旺盛なクラウドニーズから、これらのクラウド版製品の販売が第1四半期に引き続き順調に推移いたしました。また、平成25年3月期の新バージョンの投入に伴い新規案件の獲得時期のずれが生じた「m-FILTER」は、その成約に向けて営業活動を推進したこともあり、販売が進みました。さらに、Webアクセスの可視化・高効率化を実現するアプライアンス製品「D-SPA」は、平成25年1月に新バージョンを投入したことで売上が好調に推移しました。一方、企業内での利用が進展しているモバイル端末向けの製品は、Android端末及びiOS端末向けの既存製品に加え、Windows端末向けの新バージョンを平成25年9月にリリースし、販売の拡大に努めました。

既存事業の基盤拡大の取り組みとして、金融機関のセキュリティ対策において高い導入実績を誇るNRIセキュアテクノロジーズ株式会社より譲り受けたクライアント用の電子メールセキュリティソフト「SecureCube / Mail Adviser」の販売を平成25年7月より開始いたしました。当該製品は、既存のサーバー用の「m-FILTER」との相乗効果により、企業の幅広いニーズへの対応を可能とし、メールセキュリティ事業の拡大に寄与していくものと考えております。

この結果、企業向け市場の売上高は、758,850千円（前年同期比110.9%）となりました。

#### 公共向け市場

文教市場や地方自治体向けに「m-FILTER」の販売が好調に推移しました。特に、地方自治体向けにおいては県庁や比較的規模の大きな市役所への販売が進みました。また、「D-SPA」も文教市場向けに販売を伸ばしました。前年同期に文教市場および官公庁に規模の大きな特需案件があり、公共向け市場全体では前年同期比で微増となりましたが、順調に推移しております。

この結果、公共向け市場の売上高は536,170千円（前年同期比101.7%）となりました。

#### 家庭向け市場

スマートフォン向けフィルタリングソフト「i-フィルター」（iOS版及びAndroid版）は、携帯電話事業者との連携やOEM提供をはじめとした有料サービスの提供により販売が堅調に推移しました。

また、今後も普及が進むと考えるスマートフォンに対しては、その利用上の危険を疑似体験できる無料のアプリケーションの提供（平成25年8月）や、自治体や教育機関と連携をしながらスマートフォンの安全な利用方法についての保護者や青少年向けの講演活動を実施し、潜在需要の喚起に努めました。

この結果、家庭向け市場の売上高は、186,593千円（前年同期比133.1%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、売上債権の回収による現預金の増加27,702千円、売掛金の減少108,995千円、ソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の増加83,962千円、投資その他の資産の増加62,824千円等により、前連結会計年度末に比べ64,323千円増加し、4,627,066千円となりました。

負債は、未払金の減少65,443千円、税金の納付による未払法人税等の減少46,011千円、未経過保守売上による前受金の増加26,138千円、賞与引当金の増加27,076千円等により、前連結会計年度末に比べ61,576千円減少し、932,935千円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加157,296千円、配当による利益剰余金の減少69,115千円、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分による自己株式の減少31,678千円、新株予約権の減少24,160千円及び資本剰余金の増加30,200千円により、前連結会計年度末に比べ125,899千円増加し、3,694,131千円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績見通しと変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,070,002	2,097,704
売掛金	807,972	698,977
有価証券	100,775	100,801
製品	8,365	11,296
繰延税金資産	63,197	63,197
その他	53,768	35,179
流動資産合計	3,104,081	3,007,157
固定資産		
有形固定資産	126,674	141,134
無形固定資産		
ソフトウェア	718,422	787,719
その他	65,786	80,451
無形固定資産合計	784,209	868,171
投資その他の資産	547,778	610,602
固定資産合計	1,458,662	1,619,909
資産合計	4,562,743	4,627,066
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,178	6,209
未払法人税等	155,190	109,179
賞与引当金	76,699	103,776
前受金	443,219	469,358
その他	285,200	201,816
流動負債合計	962,488	890,340
固定負債		
資産除去債務	31,389	41,882
その他	633	713
固定負債合計	32,022	42,595
負債合計	994,511	932,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	713,590	713,590
資本剰余金	700,222	730,423
利益剰余金	2,215,241	2,303,422
自己株式	△180,518	△148,840
株主資本合計	3,448,536	3,598,595
新株予約権	119,695	95,535
純資産合計	3,568,231	3,694,131
負債純資産合計	4,562,743	4,627,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,351,726	1,481,615
売上原価	355,623	428,217
売上総利益	996,102	1,053,397
販売費及び一般管理費	723,289	796,686
営業利益	272,813	256,711
営業外収益		
受取利息	470	1,362
受取手数料	163	151
為替差益	675	1,488
未払配当金除斥益	869	950
雑収入	19	10
営業外収益合計	2,198	3,962
営業外費用		
株式交付費	317	514
消費税等差額	—	151
営業外費用合計	317	665
経常利益	274,694	260,008
特別利益		
新株予約権戻入益	5,177	1,259
特別利益合計	5,177	1,259
特別損失		
固定資産除却損	508	—
特別損失合計	508	—
税金等調整前四半期純利益	279,363	261,268
法人税等	113,128	103,971
少数株主損益調整前四半期純利益	166,235	157,296
四半期純利益	166,235	157,296

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,235	157,296
四半期包括利益	166,235	157,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,235	157,296



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	279,363	261,268
減価償却費	174,690	228,066
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,686	27,076
受取利息	△470	△1,362
為替差損益 (△は益)	—	△2,205
新株予約権戻入益	△5,177	△1,259
固定資産除却損	508	—
売上債権の増減額 (△は増加)	43,238	135,134
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,575	△3,444
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,701	4,030
未払金の増減額 (△は減少)	△1,767	△68,394
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	620	19,962
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	9,399	△20,856
その他	5,015	2,642
小計	501,831	580,658
利息及び配当金の受取額	1,162	1,166
法人税等の支払額	△124,400	△149,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,592	432,459
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,243	△25,310
無形固定資産の取得による支出	△244,406	△287,972
子会社株式の取得による支出	—	△5,940
貸付けによる支出	—	△56,400
敷金及び保証金の差入による支出	△9,594	—
その他	△440	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,683	△375,623
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	30,883	—
自己株式の処分による収入	—	36,141
配当金の支払額	△80,426	△65,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,543	△29,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	55,365	27,729
現金及び現金同等物の期首残高	1,406,020	1,570,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,461,385	1,598,506

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い自己株式を処分いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が30,200千円増加し、自己株式が31,678千円(54,400株)減少しております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が730,423千円、自己株式が148,840千円(255,600株)となっております。